

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	児童の言語生態研究二十年の歩み
Author(s)	佐藤, 憲朗
Citation	児童の言語生態研究 , 14 : 46 - 49
Issue Date	1990-11-25
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045158
Right	
Relation	



児童の言語生態研究二十年の歩み

岩手県・佐藤憲朗 作成

年	月 日	研究 活 動 の 概 要
一九六八 (昭四十三)	四月 五月五日 七月八日 八月十六日～十八日 十二月十日	<p>児童の言語生態研究会発足</p> <p>◎「児童の言語生態研究」創刊号 発行</p> <p>* 特集 子どもの連想と仮想</p> <p>「小学校の国語かくあるべき―現代国語教育の盲点と批判」(上原輝男著) 発行 学芸図書株式会社</p> <p>第一回 夏季合宿 於 静岡・伊豆子浦</p> <p>◎「児童の言語生態研究」第二号 発行</p> <p>* 特集 子どもは「場」をどうとらえているか</p>
一九六九 (昭四十四)	八月 十一月十五日	<p>第二回 夏季合宿 於 静岡・伊豆入間</p> <p>◎「児童の言語生態研究」第三号 発行</p> <p>* 特集 国語の力「言語能力」とは何か</p>
一九七〇 (昭四十五)	八月 十二月十五日	<p>第三回 夏季合宿 於 群馬・水上</p> <p>◎「児童の言語生態研究」第四号 発行</p> <p>* 特集 子どもにとって、書くということ</p>
一九七二 (昭四十七)	八月 四月三十日	<p>第四回 夏季合宿 於 福島・岳温泉</p> <p>◎「児童の言語生態研究」第五号 発行</p> <p>第五回 夏季合宿 於 長野・霧ヶ峰</p> <p>* 特集 子どもにとって「うそ」とは何か</p>
一九七三 (昭四十八)	八月 十一月三十日	<p>第六回 夏季合宿 於 石川・穴水</p> <p>第一回 夏季合宿研究授業―「親切という感情構造の分析」― 教材 「親切ということ」 於 穴水町立穴水小学校六年 宮本正樹学級 八月四日</p> <p>◎「児童の言語生態研究」第六号 発行</p> <p>* 特集 ことばをあやつる意識と力</p>

<p>一九七四 (昭四十九)</p> <p>二月十二日 八月四日～七日</p>	<p>『小学科国語教科書(多戸用)』(「原遊身書」) 発行 学習区国語科式を本</p> <p>第七回 夏季合宿 於 新潟・佐渡 旅館「かもめ荘」</p> <p>第二回 夏季合宿研究授業 「だててにまつわる感情のときほぐしとその整理」 教材 「おじいさんのランプ」 於 小木町立小木小学校六年 羽入正路学級 八月四日</p>
<p>一九七五 (昭五十)</p> <p>五月二十四日 八月三日～六日</p>	<p>◎「児童の言語生態研究」第七号 発行</p> <p>* 特集 子どもの感情の発達とことば</p> <p>第八回 夏季合宿 於 福井・大野勝原 「銀嶺荘」</p> <p>◆子どもの生態に根ざした国語教育の在り方を求めて◆</p> <p>第三回 夏季合宿研究授業 「まさかといつて笑える心をつくる」 教材「あたま山」 於 勝山市立平泉寺小学校二年 福田志保学級 八月四日</p>
<p>一九七六 (昭五十一)</p> <p>八月三日～六日</p>	<p>第九回 夏季合宿 於 新潟・巻温泉 金仙寺</p> <p>第四回 夏季合宿研究授業 「人生を考えるとということーイメージに時間をあてがう」 教材 「分銅屋のえんとつ」学図6下 於 新潟市立新通小学校六年 小島一則学級 八月四日</p>
<p>一九七七 (昭五十二)</p> <p>一月三十一日 二月二十日 八月四日～七日</p>	<p>◎「児童の言語生態研究」第八号 発行</p> <p>* 特集 子どもの構えの変革とことば</p> <p>「教育課程審議会答申の「小学校国語」はこれだよいか」 発行</p> <p>第十回 夏季合宿 於 岩手・遠野 民宿「民話会館」</p> <p>第五回 夏季合宿研究授業 「語彙構成という相關関係の認識——言語習得とは『言語地図』を構成することである」 於 遠野市立遠野小学校五年 佐藤憲朗学級 八月六日</p>
<p>一九七八 (昭五十三)</p> <p>六月六日 八月四日～七日</p>	<p>◎「児童の言語生態研究」第九号 発行</p> <p>* 特集 用具としての言語学習のあり方</p> <p>第十一回 夏季合宿 於 大分・別府 「三泉閣ホテル」</p> <p>◆音声言語を柱とした言語生態の発達◆</p> <p>第六回 夏季合宿研究授業 「気分で聞きつけたことはを大事に書く」 於 別府市立別府西小学校四年 森田ミサ子学級 八月六日</p>
<p>一九七九 (昭五十四)</p> <p>八月五日～八日</p>	<p>第十二回 夏季合宿 於 長野・川上 「山二旅館」</p> <p>◆小学校国語教育と音声言語教育との関わりあい◆</p> <p>第七回 夏季合宿研究授業 「口からでる音のならばを大切にするための学習——歌(曲)と歌詞の結びつき」 於 川上村立川上第一小学校二年 塚田恭子学級 八月六日</p>
<p>一九八〇</p> <p>五月三十一日</p> <p>◎「児童の言語生態研究」第十号 発行</p>	

(昭五十五)	八月二日～5日	<p>* 特集 音声言語教育の方法を探る</p> <p>第十三回 夏季合宿 広島・湯ノ山温泉 「白雲閣」</p> <p>◆ けんかに見られる児童の感情発達について◆</p> <p>第八回 夏季合宿研究授業 「けんかについての話し合い」</p> <p>於 広島市立伴小学校六年 花本高行学級 八月三日</p>
一九八一 (昭五十六)	七月十日 七月二十九日～ 八月一日	<p>「はなちがナンでえ 子どものことばの記録」 発行 (童心社)</p> <p>第十四回 夏季合宿 山口・室津 「銀波荘」</p> <p>◆ 児童の言語生態をふまえた国語教科書のありかたを探る◆</p> <p>第九回 夏季合宿研究授業 「考えに筋道を立てる」 (「休さんの話」を材料にして)</p> <p>教材 「休さんの話」</p> <p>於 田布施町立城南小学校四年 山本妙子学級七月三十一日</p> <p>児童の言語生態研究会組織変更</p>
一九八二 (昭五十七)	八月四日～七日	<p>第十五回 夏季合宿 神奈川・江ノ島</p> <p>◆ 国語教育における授業改革をめざして——児童の言語生態に根ざした授業の姿を探る◆</p> <p>第十回 夏季合宿研究授業 「こだわりからの脱出——自己解放を目指して——」</p> <p>教材 「町角のライオンがり」 教出五下(五十六年)</p> <p>於 横浜市立大正小学校五年 市山仁美学級 八月六日</p> <p>◎ 「児童の言語生態研究」第十一号 発行</p> <p>* 特集 子どものけんか</p>
一九八三 (昭五十八)	二月十五日 八月三日～六日	<p>「感情教育論 子どもの言語生態研究」 発行 上原輝男著 (学陽書房)</p> <p>第十六回 夏季合宿 新潟・糸魚川 「双葉荘」</p> <p>◆ 児童の言語生態に根ざした国語教育の視点を探る◆</p> <p>第十一回 夏季合宿研究授業 「美の世界への誘い」</p> <p>教材 「ほたる」 瀬底ノリ子作 (児言態会員)</p> <p>於 青海町立田沢小学校二年 安田初恵学級 八月五日</p>
一九八四 (昭五十九)	八月十日～十三日	<p>第十七回 夏季合宿 於 静岡・修善寺</p> <p>◆ 子どもの生き態を整える◆</p> <p>第十二回 夏季合宿研究授業 「生意気の認識」 教材 「海と鰻」</p> <p>於 葦山町立葦山南小学校四年 山田貴洋子学級 八月十一日</p> <p>小川国夫作</p>
一九八五 (昭六十)	三月二十五日	<p>「子ども文化の原像——文化人類学的視点から」 発行 (日本放送協会)</p> <p>国立民族学博物館</p> <p>子ども文化の文化人類学的研究共同研究 1982-5 岩田慶治 編著</p>

<p>一九八六 (昭六十二)</p>	<p>五月一日 八月一日～四日 八月三日～七日</p>	<p>子どものイメージ 藤岡喜愛・上原輝男 他 日本生命研究助成 ◎「児童の言語生態研究」第十二号 発行 * 特集 子どものなまいき 第十八回 夏季合宿 於 群馬・伊香保温泉 「ホテル天坊」 ◆子どもの泣きと怒り◆ 第十三回夏季合宿研究授業 「人はなぜ泣くのか」教材 「どろぼうのなみだ」—— 児童態自作 於 吉岡村立明治小学校四年 茂木真弓学級 八月二日</p>
<p>一九八七 (昭六十二)</p>	<p>一月十日 一月十六日 三月五日 七月三十一日 八月三日</p>	<p>第十九回夏季合宿 於 茨城・潮来「ホテルニュー清水・潮来ホテル」 ◆子どもの泣き◆ 第十四回夏季合宿研究授業 「地蔵が泣くことに子どもはどこまでイメージを託しうるか」 教材 「おこりじぞう」 日書三上 於 牛堀町立八千代小学校五年 根本美美学級 八月四日</p>
<p>一九八七 (昭六十二)</p>	<p>一月十日 一月十六日 三月五日 七月三十一日 八月三日</p>	<p>「世界の子ども文化」発行 岩田慶治編 「心意伝承の研究(芸能編)」出版 (桜楓社) 上原輝男著 「心意伝承の研究(芸能編)」 西角井博士記念賞 受賞 第二十回 夏季合宿 於 福井・大野 「六呂師ハイランドホテル」 ◆あの子にこの子◆ 第十五回夏季合宿研究授業 「人間関係の取り結び方についての相互観察と自覚」 教材 「新しい友達」 瀬底ノリ子作 (児童態会員) 於 大野市立蔵生小学校五年 福田志保学級 八月一日 上原輝男先生 文学博士の学位を国学院大学より授与される。 学位論文 「心意伝承の研究(芸能編)」 「忘れ水物語——ある被爆者の記憶——」出版 (限定私家版) 上原輝男著 十二月月例会 (忘年会) 於 東京・奥多摩 鳩の巣「一心亭」[人間関係意識を深る] (あの子にこの子) —— 上原先生還暦記念—— 発行者 加藤尚宏</p>
<p>一九八八 (昭六十三)</p>	<p>三月十五日 三月二十日 八月五日～八日 十月十五日～十六日 十一月三日 十二月二十五日～二十六日</p>	<p>◎「児童の言語生態研究」第十三号 発行 * 特集 子どもの泣き 上原輝男先生文学博士号取得祝賀会 於 「ホテルニューオオタニ」 第二十一回夏季合宿 於 高知・高知 「サンライズホテル」 ◆あの子にこの子◆ 第十六回夏季合宿研究授業 「数理思考と感情思考の優先性・固執性・融通性——個性研究」 教材 「妹の宿題」 日書四上(六十一年度版) 於 高知市立鴨田小学校四年 内村壮一学級 八月六日 二十周年記念講演会 (講師 村石昭三、野地潤家、藤岡喜愛、倉澤栄吉) 第十九回博報賞(国語教育部門)団体の部・文部大臣奨励賞受賞 十二月月例会 (忘年会) 於 箱根塔ノ沢温泉「新玉ノ湯」</p>